

入舟 コミ協だより

第29号

発行: '22.3.15

発行所: 入舟地区

コミュニティ協議会

責任者: 田村 幸夫

TEL 223-3532



「コロナ禍を生きる」 地域防災訓練 自主防災会 会長 玉木幸一

令和3年度の防災訓練を10月24日(日)の午前9時から開始した。主たる訓練内容は

- 1.保健衛生訓練
- 2.避難者受け入れ訓練
- 3.地震体験訓練 (1)地震体験車使用
 (2)避難者用搬送資機材使用
- 4.移動無線機での情報伝達訓練
- 5.施設環境整備訓練

各々を担当役員の指導により実施した。

本年度の訓練は新型コロナのため、各町内7名程度の参加制限を設け実施した。主目的の地震体験車訓練は新潟県で1台しかないため、抽選制度を勝ち抜けての訓練であり、参加者の大半が体験でき有意義なものであった。

地震体験中、東日本地震対応の揺れ体験ではかなり緊張感があったようである。

役員による消毒作業も毎回実施し、感染防止に努力した。

毎年訓練を実施できることで、各役員の練度も上達しており、避難所受け入れ等、年々スマーズになっている。



青色回転灯装着車(青パト) 自主防犯パトロールについて 入舟地区防犯協会 副会長 阿部幹雄

新潟市が推奨する青パト。6年ぶりに我が入舟地区にお2人が加わりました。

今まで中央区に1台だった青パトが、3台となり、それも入舟地区から誕生しました。大変喜ばしい事です。

青パトの青色回転灯は新潟市から貸与されますが他は全て自己負担としています。

私を含む青パトを実施する方々は、「入舟地区の安全を自ら守る」と言う意気込みで取り組んでいます

入舟地区の防犯体制は、警察や行政に評価されています。尚、6月頃3台一齊の出発式を警察・行政の協力を得て実施致しますので、ご参加下さいますようお願い致します。



「毎週この時間が楽しみられて」 ラジオ体操で「長寿」会長 本田雄三

「コロナで行くとこねーて家にばっかいで退屈で退屈で。ここくつとみんなと話ができるし、体操はできるし、気分がすっきりするんさね。毎週この時間が楽しみられて。」

ラジオ体操で「長寿」はスタッフの協力で、体温測定、マスク着用、部屋の換気等、感染防止対策を徹底し、休むことなく毎週体操を行ってきました。

体操には毎回40名以上の参加があり、昨年11には安田温泉で忘年会を行い、コロナ禍で久しぶりに楽しいひと時も過ごしました。



活動範囲
・新潟市中央区全域(新潟島)
・日和山小学校通学路

活動内容

- ・日和山小学校児童の登下校見守り
- ・街頭指導時・事件発生時・不審者や猪出没時
- ・悪天候時の巡回・環境美化推進

重要性

- ・地域防犯には欠かせない守る効果。
- ・犯罪者を寄せ付けない抑止力。
- ・防犯・防火警戒等危険を察知し通報。

実施者から一言・「青パトを見かけましたら、ご苦労様の合図を送って頂けると心強いでです」。

「コロナ時代に」 日和山小学校の活動 新潟市立日和山小学校 小島良子

今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、全校遠足など無くなった行事もありましたが、地域の方々の協力もあり、子どもたちは元気に過ごすことができました。4年生はフレッシュ本町商店街の



店舗を調べ、お話を聞き、店舗ごとにロゴを作成し、子どもたち全員のステッカーを作りました。

2月上旬には、そのロゴを活用してフレッシュ本町「商店巡りスタンプラリー」が開催され、たくさんの子どもたちが足を運んでくれました。地域の活性化に少しでも貢献でき、大人も子どもも楽しめる活動になりました。



「コロナ禍を生きる」 新潟柳都中学校 教頭 倉島 陽介

今年度もコロナ禍の中、地域の方々や保護者の皆様のお力を借りし、生徒や職員は試行錯誤しながら教育活動を進めて参りました。このような状況下でも、かかわっていただいた多くの方々や生徒の尽力により、当校の教育目標である「未来を切り拓く生徒」を育む取組を進めることができました。

その中でも、生徒が力強く活動する姿が心に残っている体育祭と合唱祭の2つの行事の様子について紹介します。これらの行事でも、マスク着用や身体接触を避ける、近距離での会話(指示など)を避ける、前後左右の間隔をできるだけ広くとるなどの



対策を講じながら、なんとか実施にこぎつけることができました。生徒は制約のある中でも、「認め合い、助け合い、支え合い、高め合う」人間関係を構築し、自分の成長と仲間の成長を認め合い、これからの自分の在り方を考える姿が見られました。

このように日常生活だけでなく、各種学校行事を通して、コロナ禍に負けずに一人一人が成長し、これから更に力を合わせて逆境を乗り越えていくことが期待できる姿が随所に見られました。

最後になりますが、コロナ禍の一刻も早い収束を願い、来年度も地域の皆様に生徒の成長した姿をぜひ見守っていただけるよう、教育活動に取り組んでいきたいと考えます。今後も変わらぬご支援を賜りますよう、お願いいたします。



コミ協の活動状況

総務部会 高山ゆり子

- ①5/19 旧コミセン跡地検討委員会
- ②5/30入舟地区コミュニティ協議会 合同総会(37名)
- ③6/19 合同安全パトロール(55名)
- ④7/30 福祉文教部会
- ⑤ 8/25緊急情報キット配布事業に関し、全町内/
自治会長及び民生委員への説明会を開催
- ⑥6/18(中止) 秋期合同安全パトロール

9/18

⑦9/20コミ協だより28号発行

⑧10/24 入舟地区合同防災訓練

⑨10月 緊急情報キットを対象者に配布

⑩12/08 防犯研修会(振込み詐欺防止)(51名)

⑪R4/1/28 (中止)コミ協新年会

⑫2月 (中止)日赤入舟分団救命講習会

⑬3/15(予定)コミ協だより29号発行

⑭3/26 (予定)春期合同安全パトロール

※R3年度の「お互いさまランチ」「敬老会」「ふれあい
ウォーキング」は感染防止の為、中止した

「中央健康センター移設」のお知らせ

コミ協会長 田村幸夫

皆様にお知らせいたします。中央地域保健福祉センターは老朽化（昭和46年建設）に伴い、令和4年1月より、北部総合コミュニティセンター1階に「中央健康センター」として移設しました。中央地区における市民の健康づくりの拠点となります。

従来の保健室も一層の機能整備を行い、成人のガン検診にも使用できます。健康管理の支援を容易に受けられるので、小さなお子さんをお持ちのご両親には、大いに安心されるのではないでしょうか。

40台以上 利用が出来る専用駐車場
も完備しております。



編集後記

コロナ禍も3年目、いまだ脱出の兆なし。一方、「跡地活用」は最終段階に到達した。

昨年末 区役所は旧コミセン跡地を公売に付し、本年3月に競争入札される。順調ならば来年度に建物の取り壊しが開始される予定。約十年を要した大事業が終局となる。旧入舟小の閉校、日和山小の誕生、移転、旧コミセンの現在地への移設を経由し、それに伴い、消防署、交番、図書館、区出張所

緊急情報キット配布事業

入舟地区社協会長 稲野 實

町内会長/自治会長及び、民生委員皆様の協力で75歳以上の単身世帯、夫婦のみの世帯に緊急情報キットを配布しました

本品は、急に具合が悪くなり救急車を呼んだ時に、本人が話を出来ない状況でも、救急隊員はこの情報を見て、すぐに病院に搬送出来る為のものです。カードにはかかりつけ医療機関、服用薬、及び緊急連絡先などを記入できます。

高齢の一人、二人暮らしの方には、安心できる心強いものとなり、喜ばれました
入舟地区では約60本を配布しました。



と共に、コミ協事務室も数度に渡り移動した。コミ協の希望がどのような結果に具体化されるかの不安はある。しかしながら喜ばしいことである。

編集委員；鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫、高山ゆり子
古寺昭治、小島良子、阿部幹雄、風間幸一、
宮尾益史、中川光男